



しものせき

# 議会だより

## 令和元年 第2回定例会 委員会報告・一般質問

【発行日】令和元年9月1日 【編集】議会広報部会 【発行】下関市議会 〒750-8521 下関市南部町1-1 ☎083-231-4121  
【印刷】アロー印刷株式会社 〒751-0818 下関市卸新町10-3 ☎083-223-1211

### 副議長めぐわし



副議長 吉田 真次

令和元年初となる定例会では、福祉や教育、防災対策や公共施設など、市民生活に密接に関わるものをはじめ、市の諸施策について幅広い分野にわたり、一般質問が行われました。

議会では、平成30年9月にタブレット端末を本格導入しました。このたびの一般質問においても、タブレット端末を活用して、グラフや写真を議場内のモニターに表示し質問を行うなど、よりわかりやすく、活発な議論となるよう、議会の活性化に努めたところです。今後とも、市民に開かれ、市民参加を推進する議会運営を目指して、さまざまな取り組みを行ってまいります。市民の皆さまには、なお一層のご支援・ご激励を賜りますようお願い申し上げます。

このページでは、第2回定例会における委員会での主な議論を、次のページからは本会議で行われた、下関市の施策や方針等に対する議員からの質問と、それに対する市長の答弁の主な内容を掲載しています。

### 委員会報告

#### 総務委員会

##### ▼会計年度任用職員制度の創設

本市では、臨時的に雇用している職員を「非常勤職員」として任用しているが、法改正により、全国的に統一された「会計年度任用職員」として任用することになり、それに伴う条例の制定などについて審議しました。

令和2年度では、会計年度任用職員数1300人を想定しているとの市の説明を受け、委員から、休職・育休などの臨時的な雇用を除外する意見がなされました。

#### 文教厚生委員会

##### ▼北部図書館整備

下関市立北部図書館整備についての要望書を、下関図書館友の会から5月24日に受理し、委員会において協議しました。

北部図書館の構想が安岡公民館・支所の移転計画の中で検討されていることから、市とともに教育委員会も主体的立場で関わるよう求めました。また、交通機関などの利便性も含め多面的に検討し、整備内容等の決定前に、市民の声を聞く場を設けるとともに、適宜、委員会への報告を求めました。

#### 経済委員会

##### ▼プレミアム付商品券

令和元年10月に予定されている消費税率の引き上げが消費に与える影響を考慮し、地域の消費を喚起・下支えするために、所得の低い方や子育て世帯の世帯主を対象としたプレミアム率20%の商品券発行に要する経費などの予算補正議案を審議しました。

委員会では、商品券が使用できる店舗数の状況や販売予定場所が山口銀行、西中国信用金庫、郵便局、各総合支所、本庁管内の各支所であることなどを確認しました。

#### 建設消防委員会

##### ▼日本エレモニーウォーク(下関駅前人工地盤)の昇降機改修計画

当初の改修計画では、エスカレーター全てを撤去し、階段の新設と併せて必要箇所へエレベーターを増設することになっていました。利用者の多い下関駅前について、委員会等でエスカレーターの設置を要望したところ、上り専用エスカレーターを設置するとの報告を受けました。

委員会では、駅と周辺施設間の連絡がスムーズになるよう、さらなる検討と対策を要望しました。

各常任委員会の主な審査内容などを紹介いたします。

第2回定例会は6月3日から18日までを会期として開催され、提出された40議案は、いずれも原案のとおり可決されました。「市報しものせき」のP21には、令和元年第3回の予定などを掲載しておりますので、ご覧ください。

#### ◎議員研修会を開催しました。

令和元年8月2日(金)に議員研修会を開催しました。「まちづくり」をテーマに、北尾洋二氏(唐戸の創業支援カフェ KARA STA. 代表)と森脇暉氏(豊北の島戸ゲスタタウンプロジェクト)応援団長による講演の後に、林昂史議会広報部会長をコーディネーターとして、トークセッションを行いました。



議場にて開催しました

「しものせき議会だより」は議員自ら執筆し、議会広報部会で編集しています。



日本共産党  
江原満寿男

▼「滝部温泉再生は可能か」

**問** 再生の支援策明示が必要では。清算段階で今後の展開を検討中。市の提案を示す時期ではない。運営体が決まったら市の支援策をより具体的に検討できる。

**問** 行政支援がないと温泉再生は困難なため、建物の利用が可能かどうかの見極めが必要。代表清算人に市長自ら会う気はないか。  
**答** 面会には応ずる。



営業停止中の滝部温泉

▼「豊北地区の小学校統廃合」

**問** スクールバスが令和2年度10台以上になる。住民移動手段として空き時間の活用の検討は。

**答** 教育委員会は、スクールバス

本来の目的を最優先し、運行情報等を提供する。住民ニーズを注視しながら、適宜協議する。

**問** 廃校の有効活用を募集しては。し改善を検討。  
**答** 廃校情報をホームページで流し改善を検討。

※立地適正化計画・総合交通戦略・中山間地域等直接支払交付金も質問



日本共産党  
西岡 広伸

▼「民間建築物の違法建築」

**問** 市を含め関係者が立ち会い、違法建築を正すべきではないか。

**答** 報告内容を精査し必要があれば立ち入り検査を行う。

▼「防災対策」

**問** 所有者不明土地で土砂災害が起き、他の住民に重大な危険が及ぶ場合、市が支援すべきでは。

**答** 民地で被災箇所に対する本格的な対策については原則所有者が行わなければならないが、本市においては対応ができないのが現状。

**問** 子ども医療費無償化  
子育て支援や若者定住に向け、中学卒業まで無償にすべきでは。

**答** 国の動向を注視し、財政状況を踏まえ、制度の拡充など検討を進める。

**問** 外国人利用者が多い公衆トイレの清掃回数は現状で十分か。

**答** 十分な状況とは言えないのが現状である。



赤間公衆トイレ

**問** 十分な状況とは言えないのが現状である。



みらい下関  
香川 昌則

▼「公共交通の再編」

**問** 平成30年3月に下関市総合交通戦略を策定し、令和元年度は再編実施計画を策定中とのことだが、その計画を実施する上での課題、運転士不足への対応はどうか。

**答** 路線の見直しなどで環境整備を行い、課題を解消していく。

**問** 障がい者防災  
現在、福祉避難所の18施設は、二次避難所であり、直接行くことができない。一次避難所を経由することにになり、非効率ではないか。

**答** 福祉施設の理解・協力が得られれば、福祉避難所を直接行くことができる一次避難所として検討する。



災害ボランティアセンター

**問** 認知症ケア  
認知症への取り組みの中で大きな課題は、日ごろ認知症の方に接している家族や専門職の対応の仕方と考える。そこで、認知症ケア技法のひとつ「ユマニチュード」をどう評価しているか。

**答** 課題の認識は同じであり、技法としての「ユマニチュード」を注視している。



志誠会  
安岡 克昌

▼「子ども見守り隊事業」

**問** 全国的にも通学中の事故が多発している昨今、市長が先頭にな

って、再度「子ども見守り隊」活動を地域に呼びかけできないか。

**答** 確かに大事なことである。腕章作製も含め検討したいと思う。

▼平成30年7月豪雨災害復旧状況  
**問** まだ復旧できていない箇所がある。市有地と民有地で、結局全体で応急復旧は何件あったのか。

**答** 市有地は249件、民有地は48件であった。

**問** 道路、河川、あるいは公園などの公共施設で必要とする本復旧の件数と状況は。

**答** 道路26件、河川9件の合計35件である。このうち規模の大きい災害19件は14件が完成、5件が施工中である。規模の小さい災害16件は6件が完成、3件が施工中、7件が入札不調のため6月中に再入札を実施する。未完了の箇所は二次災害防止の措置を行っている。

※財政健全化プロジェクト(II期計画)の現状も質問



ステッカー



腕章

子ども見守り隊



唐戸の観光を牽引する唐戸市場

**問** 唐戸市場における観光を牽引する施設であり、今後も観光客の増加が予想されるため、増加に伴う諸問題などについて市と関係者で情報共有を図りながら、より良い観光地となるよう努めていく。

**答** 唐戸における観光を牽引する施設であり、今後も観光客の増加が予想されるため、増加に伴う諸問題などについて市と関係者で情報共有を図りながら、より良い観光地となるよう努めていく。



公明党  
恵良健一郎

**問** 公共施設の統廃合などを行う際の進め方は。

**答** 庁内で統一したマニュアルは無いが、個別に施設計画を作成する場合には計画の中で手順等を示すようにしていく。

▼唐戸市場における観光



みらい下関  
林 昂史

**問** 本市の観光施策における位置づけと今後のあり方は。

**答** 唐戸地区を中心とした海峡エリアを、さらに魅力的なものにするため、地域住民参加型ワークショップを通じて「下関らしい」エリアビジョン策定を目指すもの。

**問** まちの魅力再発掘プロジェクト本プロジェクトの内容は。

**答** 唐戸地区を中心とした海峡エリアを、さらに魅力的なものにするため、地域住民参加型ワークショップを通じて「下関らしい」エリアビジョン策定を目指すもの。

**問** キックオフイベントは。

**答** ロングライフデザイン活動家のナガオカケンメイ氏をゲストとし、クリエイティブな視点で情報発信を参加者にアドバイスする。今後について。

**問** 令和2年3月に無料のタブロイド観光用冊子を発行し、下関の魅力を全国へ発信する。

**答** 令和2年3月に無料のタブロイド観光用冊子を発行し、下関の魅力を全国へ発信する。

**問** 奨学金返還支援補助金制度本事業の内容は。

**答** 大学等に進学する際に貸与型の補助対象奨学金を利用された方が、卒業後に市内に在住し、認定

**問** 支援の状況と今後のあり方は。相談窓口を設置し専門職員で対応し、必要に応じて家庭訪問などを行っている。ひきこもりの要因はさまざまであるため、生活、福祉、教育、就労などの関係機関と密に連絡を取り対応していく。

▼不登校、ひきこもりの切れ目のない支援



まちの魅力再発掘プロジェクト

された登録企業へ就職した場合、奨学金の実返還額(年額上限12万円)を就職2年目から5年間で最大60万円補助する制度。



市民連合会  
濱岡 歳生

**問** 女性の目線に立った、防災・減災・復旧対策をどう進めるか

**答** 防災計画策定段階で女性の意見はどのように取り入れられるか。

**問** 下関市防災会議は32名の委員で構成されており、平成30年度はそのうち7名の方が女性委員で、女性の立場としての意見を聞く機会となっている。

**答** 下関市防災会議は32名の委員で構成されており、平成30年度はそのうち7名の方が女性委員で、女性の立場としての意見を聞く機会となっている。

**問** 口腔保健の取り組み

**答** 口の中の状態と健康は密接に関わっていると聞かす

**問** 歯と口腔の機能を維持向上す

ることは、生涯を通じて健康で質の高い生活を営む上で不可欠であるのはもちろんのこと、生活習慣病をはじめとした全身疾患の予防や健康寿命の延伸において極めて重要な役割を担っている。



健康に良い「あいうべ体操カード」

**問** 下関市での取り組みは。

**答** 壮年期世代に対して、医師会・歯科医師会・薬剤師会・栄養士会と共催で、糖尿病や歯周病との関連性や予防についての講話を行っている。



創世下関  
吉村 武志

**問** 通学路の危険個所点検方法は。

**答** 通学路の危険個所点検方法は、通学路の調査や点検を実施。

**問** 通学路の危険個所点検方法は。

**答** 通学路の危険個所点検方法は、通学路の調査や点検を実施。



通学路の路面標示例

**問** 危険個所を抽出し、危険度、緊急度の高い場所から順次改善を図っている。

**答** 通学路の横断歩道等の路面標示の改善状況は。

**問** 通学路を含む市道では、平成30年度に約20kmの外側線などの復旧及び新設を実施し、横断歩道は、公安委員会が優先順位をつけて改善している。

**問** 鳥獣による農林業被害対策

**答** 鳥獣による被害状況は。

**問** 被害防止計画と対策状況は。

**答** 被害防止計画と対策状況は。

**問** 被害防止計画と対策状況は。

**答** 被害防止計画と対策状況は。

**問** 被害防止計画と対策状況は。

**答** 被害防止計画と対策状況は。



勝山御殿跡・勝山地区公園

**問** 城郭の修理・整備は、この度、国指定史跡になり、

**答** 都道府県における文化財保存活用大綱の策定、市町村による文化財保存活用地域計画の策定、文化庁長官による認定という制度が新たに規定された。市町村が作る文化財保存活用地域計画は、目指す目標や中長期的に取り組む具体的な内容を当該市町村における文化財の保存活用に関する基本的なアクションプランと位置付けられている。



志誠会  
村中 良多



住吉神社のお田植祭

**問** 住吉神社のお田植祭を市の無形文化財にできないか

**答** 機械化は人力による田植を失わせた。過去から続く市内各地のお田植祭も少子化等で継続が困難である。それゆえ住吉神社のお田



創世下関  
福田 幸博

修理等については慎重を期する必要がある。石垣等の修理については、単なる公園施設の修理とは異なるため、教育委員会と都市整備部と調整しながら対応する。

**問** 視察・観光などPR対応は。引き続き、下関観光ガイドブックやSNSに掲載し、広く周知に努めていく。

議員個人の賛否の結果や一般質問の様子は、下関市議会のホームページをご覧ください。  
(QRコードを使うと市のホームページにスムーズにアクセスできます)

○本会議や委員会の様子



○各議案に対する議員個人の賛否の結果



植祭を市の無形文化財として後世に残せないか。

**答** 思いは分かるが調査しルールに則り決める。

**問** 下関陸上競技場の利用時間

**答** グラウンドの改修を機に利用時間を3時間単位にできないか。

**問** 商業捕鯨再開による下関港の捕鯨母船の母港化

**答** 沿岸操業と沖合操業の水産庁による捕鯨枠も定まっていない。山口県と歩調を合わせ水産庁や各方面に要望中である。

●第2回定例会では次の議員も一般質問をしています。  
※掲載の順番は質問順です。

■阪本 祐季(創世下関)

○公共施設マネジメント

○定住人口を増やす(人口流出削減、人口流入増加に関する)取り組み

■桧垣 徳雄(日本共産党)

○下関北九州道路整備計画

○交通対策事業の進捗状況やいきいきシルバークラス利用者の不満解消の取り組みほか

■井川 典子(創世下関)

○ZOOMインチャイルド

■東城 しのぶ(市民連合)

○誰もが利用できる市民プール

○幼児無償化の受入れ体制

■前東 直樹(公明党)

○各種検診や触診モデルの活用と骨髄移植ドナー支援

○市立大学の総合大学化と特色ある教育の取り組みほか

■河野 淳一(公明党)

○地球温暖化対策(削減目標の管理と市民への啓発)

○防災対策(避難行動要支援者対策の現状)

■本池 涼子(無所属)

○安岡沖洋上風力発電建設計画

○小中学校のトイレほか

■片山 房一(日本共産党)

○国保料の均等割減による子育て世帯の負担軽減の実施

○自衛官募集協力のあり方の変更ほか

■田辺よし子(無所属)

○下関市の一般職と特別職の数と給与・報酬は適正か

○プラスチックごみの削減ほか

■小熊坂孝司(志誠会)

○下関あるかぼーと開発

○商業捕鯨再開における取り組みほか

■山下 隆夫(市民連合)

○SDGs(持続可能な開発)の推進

○川中支所・川中公民館分館の移転ほか

■板谷 正志誠会

○ねこの適正飼養に関する条例化の必要性

○若者の地元就職支援から考える今後の市職員採用計画

■濱崎 伸浩(創世下関)

○安岡地区複合施設整備等検討業務

■林 真一郎(志誠会)

○密集市街地並びに北側斜面地での調査業務内容と手法

○下関市の8050問題

■星出 恒夫(みらい下関)

○犬・猫の収容状況(殺処分数減少の取り組み)

○高台地のごみ収集ほか

■平田 陽道(公明党)

○介護予防

○認知症施策の推進ほか

■坂本 晴美(公明党)

○生活困窮者自立支援制度(支援状況と横の連携)

○放課後等デイサービス指定基準見直し後の対応)ほか